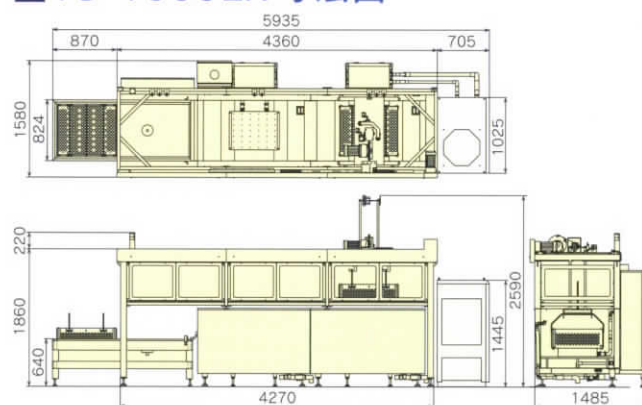


■ 温湯種子消毒装置および、水冷装置用クーラーの主な仕様

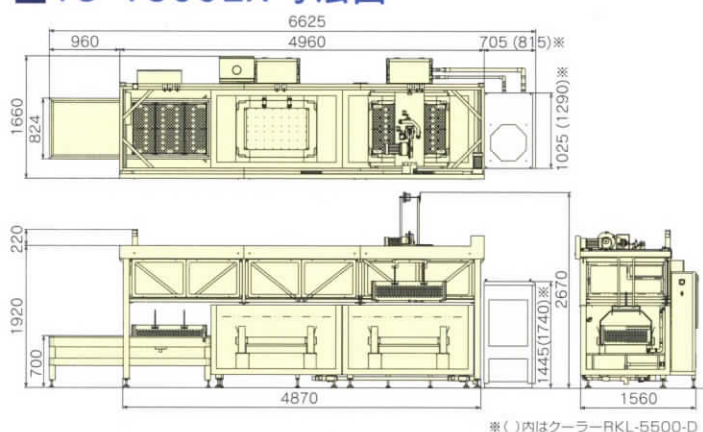
	YS-1000EX	YS-1500EX	YS-1000A1SET	クーラー(オプション) [型式]	
処 理 重 量	最大 40kg / 回	最大 60kg / 回	最大 40kg / 回	RKL-3750-D	RKL-5500-D
処 理 能 力	200kg / h	300kg / h	200kg / h	11.6/12.2kW (50Hz/60Hz)	18.7/20.3kW (50Hz/60Hz)
周 囲 温 度 範 囲	5~40℃			5~43℃	
定 格 電 源	温湯消毒機	AC200V 三相 19.5A	AC200V 三相 38A	AC200V 三相 (50Hz/60Hz)	AC200V 三相 (50Hz/60Hz)
	水 冷 装 置	AC200V 单相 2.5A		18 / 20A	24 / 27A
	給 湯 器	AC100V 1.5A 凍結防止ヒーター作動時 3.7A		消費電力 5 / 6kW	消費電力 7 / 8kW
	自動搬送機	AC100V 5.1A×2			
ヒ ー タ ー 容 量	チェーンブロック			AC100V 10.5A×2	
		6kW	12kW	6kW	
ポ ン プ 容 量	AC200V 单相 150W×4	AC200V 单相 150W×5	AC200V 单相 150W×4	AC200V 三相 400W	
温 度 設 定 範 囲	温湯消毒機	36~65℃ (0.1℃単位)		5~30℃	
	水 冷 装 置	1~25℃ (1℃単位)		(0.1℃単位)	
給 湯 器	ガスの種類	LPG			
	消 費 量	112kW (8kg / h)			
外 形 寸 法	幅	5230mm	5920mm	5580mm	1025mm 1290mm
	奥 行	1580mm	1660mm	2500mm	705mm 815mm
	高 さ	2590mm	2670mm	2560mm	1445mm 1740mm

※製品の仕様およびデザインは改良のため予告なく変更する場合があります。

■ YS-1000EX 寸法図



■ YS-1500EX 寸法図



※()内はクーラーRKL-5500-D

作業効率を高める オプション



RKL-3750-D/RKL-5500-D
水冷装置用クーラー
仕様は上記仕様表をご覧ください。



TDS-200
グレイダー付脱芒機
最大処理能力: 200kg/h
(標準 100kg/h)
モーター出力: 三相200V/
400W (防塵型)



YDK-24/30/36
脱水機
脱水能力:
(YDK-24) 25kg / (YDK-30) 38kg / (YDK-36) 60kg
モーター出力: 三相200V/
(YDK-24) 0.75kW / (YDK-30) 2.2kW / (YDK-36) 7.5kW



HK-1800
袋詰計量機
最大処理能力: 1200kg/h
モーター出力: 100V/100W

TIGER

温湯処理装置

ゆめ
湯芽工房

YS-1000EX

YS-1500EX

「湯芽工房」は、種子伝染性の病害虫を
温湯で消毒します。環境にやさしく、
安全・安心な米作りに貢献します。



株式会社 **タイガーカワシマ**

本社・工場 〒374-0134 群馬県邑楽郡板倉町大字粕谷2876
ホームページ <https://www.tiger-k.co.jp> TEL 0276-55-3001

環境にやさしく、 安全・安心な米作りに貢献します。

環境にやさしい農業技術が求められる中、今まで種モミの消毒に化学農薬が使われてきましたが、使用済み廃液の処理問題が指摘され、さらに農産物の安全性向上の観点からも化学農薬に替る技術が今、求められています。

その中、温湯で種モミを消毒するこの「湯芽工房」の果たす役割は大きいと考えます。

温湯種子消毒とは…

農薬を使わずに60℃のお湯に10分間種モミを浸して、種子伝染性の病害虫を防除する技術で、農薬使用と同等の消毒効果と90%以上の発芽率を確保できるとの成果報告が出されています。この技術を多くの方々に確実に簡単に行っていただくため、国や県の試験研究機関と共同研究を進め、実用化した製品が湯芽工房です。

温湯種子消毒のメリットは…

安全・安心の 米作り



種子消毒の段階で使用農薬成分回数を2～3成分削減することができます。安全・安心を求める消費者のニーズに応えます。

環境に優しい 米作り



農薬を使わない種子消毒のため、農薬の廃液処理等の問題を解消します。地球にやさしい環境保全型農業に貢献します。

コスト節減の 米作り



農薬購入コストや農薬使用後の廃液処理等の費用が発生しません。ランニングコストを低く抑えることができます。

温湯消毒の注意事項

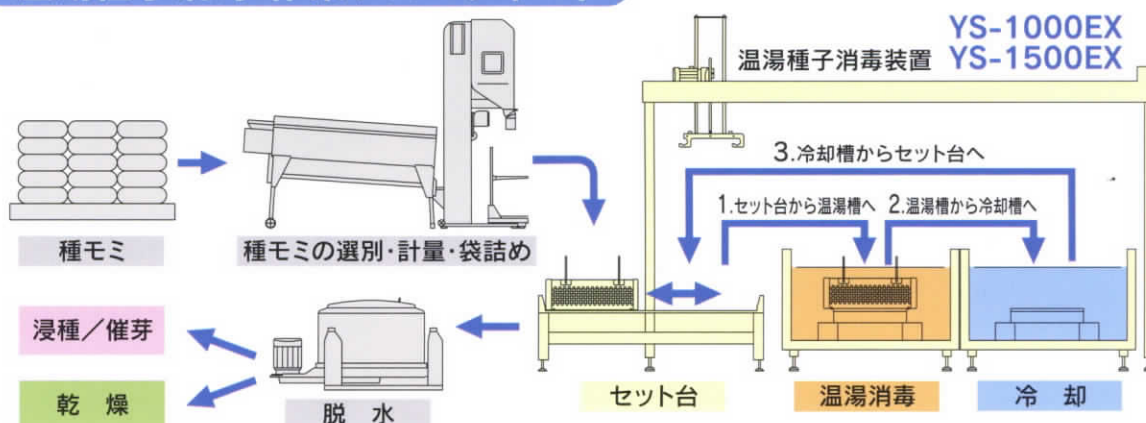
- 新しく保存状態の良い健全種子を使用してください。
(比重1.13以上のもの、あるいは粒径2.2mm以上のもの)
- 温湯消毒に使う種モミは、必ず水分15%以下の乾モミを使ってください。
濡れた種モミで行うと発芽不良の原因となります。
- 1回あたりの処理量は、規定量を厳守してください。入れ過ぎは、消毒効果の低下の原因となります。
- 温湯種子消毒は、60℃10分間を厳守してください。

※品種によっては、60℃10分間でも発芽率が90%を下回る場合があります。不明の品種の場合、普及指導機関等に問い合わせてください。

温湯消毒後の注意事項

- 冷却後すぐに浸種しない場合は、日陰で十分に乾燥(15%以下)してから保存してください。
(乾燥が不十分ですと、カビの発生の恐れがあります。)
十分に乾燥後、春先なら通気性のよい温度変化の少ない場所で1ヶ月、15℃以下の低温下で3ヶ月程度は保存できます。
- 温湯消毒した種モミは、化学農薬による消毒と異なり、消毒後の感染に対して無防備です。消毒後は絶対に病原菌等に接触しないように注意してください。
- 温湯消毒後の種モミを保存のため乾燥させる場合は、消毒済みのシート類を使用してください。
- 温湯消毒した種モミは、きれいな水で十分に浸種してください。2日に1回は水を交換し、水温が高くならないように(15℃以下)注意してください。浸種作業から催芽作業へ進む場合は、必ず水を交換してください。
- 育苗初期までは温度管理に留意し、30℃以上の高温には長時間遭遇させないでください。
- 種子伝染性病害虫には、温湯消毒の効果はありますが、土壌伝染性の病害に対する消毒効果はありません。特に、水田土や山土を育苗土に用いる場合には、防除基準に準じて防除してください。

温湯種子消毒 作業フローチャート



手動

YS-1000A1SET

手動搬送システム

温湯種子消毒が終了すると、チェーンブロックがブザーと同時に浸漬カゴを自動的に引き上げるので、安心して作業が出来ます。また、詰込み、温湯消毒、冷却の各工程への移動も2基のチェーンブロックで楽に行うことができます。

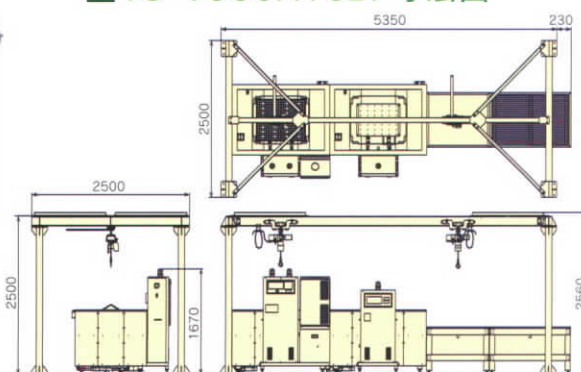
高能率

2基のチェーンブロックで詰込み、消毒、冷却作業を効率よく行うことができます。

安心設計

設定時間になると、ブザーと同時にチェーンブロックにより浸漬カゴを自動的に引き上げます。

YS-1000A1SET 寸法図





自動

YS-1000EX

処理能力 200kg/h

自動搬送システム

YS-1500EX

処理能力 300kg/h

温湯種子消毒の工程をすべて自動で行い、
1時間に約200/300kgの種モミを処理できます。
さらに温湯消毒後、冷却された種モミは、
スタート位置まで戻ってくるので
オペレーターはその場所を動かずに
種モミの入れ替え作業ができます。

温湯
60℃ 10分
種子消毒

特徴

温湯種子消毒装置
(自動搬送システム)の特徴

省力化

2台のシステムを並列設置した
場合でも、オペレーター1人で
効率よく操作できます。

シンプル設計

シンプルに設計された
システムは、低コストを実現。
メンテナンスも簡単です。

省スペース

並列配置でも場所を
取らないコンパクト
設計です。

液晶操作パネル

液晶タッチパネルを採用。
パネル上の表示に従って、
画面をタッチしていくだけで
簡単に操作を行えます。

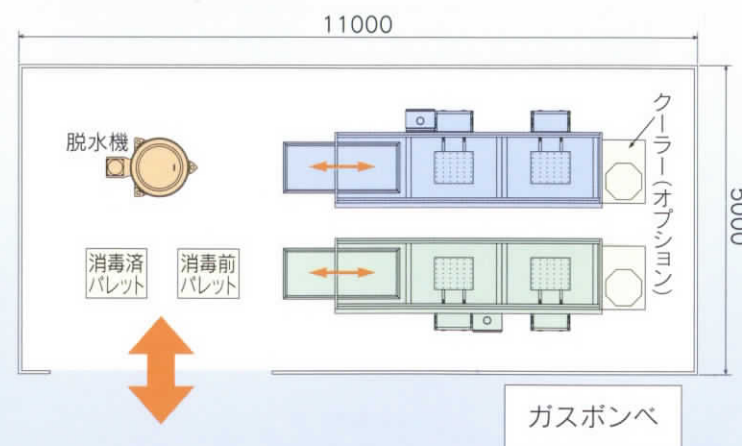
エラー診断機能搭載

異常発生時に原因・対策を
確認でき、安心して対処
できます。



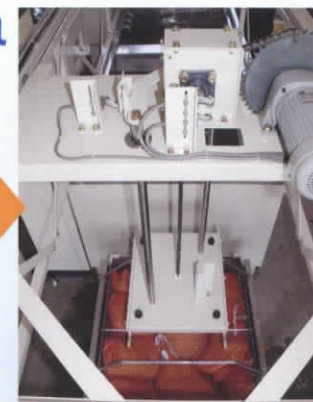
配置例

省スペースで並列配置が可能です。
オペレーター1人で2台の
システムを操作でき、作業効率が
あがります。

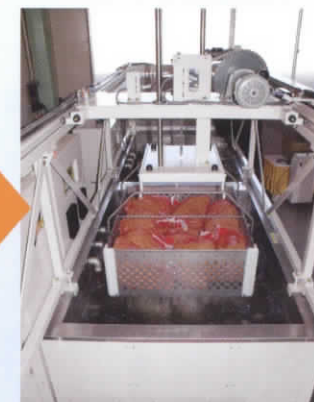


作業の流れ

種モミを、
スタート位置へ
準備して



準備された種モミを引き上げ、温湯槽へ



温湯消毒が終了し、冷却槽へ



冷却が終了し、スタート位置へ